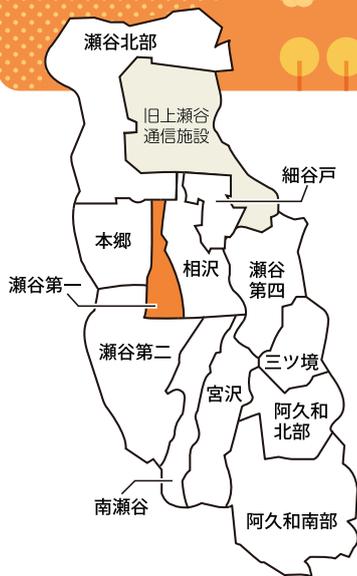


# 瀬谷第一地区



## 1 地区の概況

- ◆瀬谷駅を中心部に挟んで南北に広がる比較的小さな地区。域内の人口は約6,500人で、地区としては2番目に少ない地区である。その一方、瀬谷区の中で人口増加が認められる数少ない地区でもある。
- ◆また、「GREEN×EXPO 2027」(花博)の開催地である上瀬谷跡地を北に控え、瀬谷区の中でも大きな変化を受ける地域である。今後の賑わいへの期待が高まる一方、交通渋滞や環境悪化の課題が指摘されている。
- ◆瀬谷中学校の移転が2028年度計画されており、登下校の通学が大きく変わることになる。  
これに伴い地震災害時の避難所が移転することに対し、住民から改善要望も挙げられている。

## 2 第1期～第4期で取り組んだ主な活動や事業

- ◆WAT運動(高齢者等の見守り)の創出(第2期～)
- ◆安心キットの普及(第3期～) ◆児童のための習字教室、将棋教室の開催(第3期)
- ◆趣味特技アンケートの実施と懇談会の開催(第3期) ◆冊子「私の健康法」の発刊(第3期)
- ◆健康ウォークの復活(第4期) ◆「私の健康法Ⅱ」の発行(第4期) ◆自由教室の開催(第4期)



- ◆困りごと&ボランティア活動アンケートの実施(第4期) ◆有償ボランティアの募集(第4期)
- ※このアンケート結果で出された困りごとの解決を第5期計画の中に盛り込んでいる。

## 3 第5期計画に向けての課題

- ◆第4期に掲げた4つの大きな目標を基本的には継承し、計画の実現を目指してゆくこと。
- ◆計画(目標)の実現に向けて、みんなの気持ちをまとめた行動プランを作成すること。
- ◆計画(目標)を実現する活動が、同時に担い手を増やし、協力者を広げる活動となること。
- ◆計画(目標)が地域に浸透し、助け合いや見守りの福祉活動が当たり前の地域になること。
- ◆計画(目標)の実現の積み重ねによって地域住民の共感や支持が広がり、住んでいてよかったと思える地域になること。

## 4 推進母体

地区連合町内会と地区社会福祉協議会が中心となり、地区内の民生委員児童委員協議会をはじめとする各団体と連携(協力)して推進する。

# 瀬谷第一地区

# 私たちの第5期地域福祉保健計画



年代別健康プログラムの  
作成と実施

フレイル予防

## 目標1

誰もが健康に  
暮らせる地域にしよう

認知症対応と認知症予防  
プログラムの作成と実施

WAT運動の推進

## 目標2

多様な見守り方法の創出

見守りを通して  
支え合う地域にしよう

高齢者と子ども世代交流

子ども食堂の支援

障がい者の理解と交流

おしゃべりサロンの開催

子育て世代の支援と交流の場づくり

## 目標3

明日の担い手が  
育つ地域にしよう

児童の勉学・遊びの居場所づくり

中高生への社会貢献活動支援

花博への地元要望発信

## 目標4

住民要望が叶えられる  
地域にしよう

瀬谷中の移転と  
跡地活用への要望発信

アンケート結果に基づく  
困りごとの解決

Plus 1

幸せの四葉のクローバーが  
たくさん育つ地区となろう

